

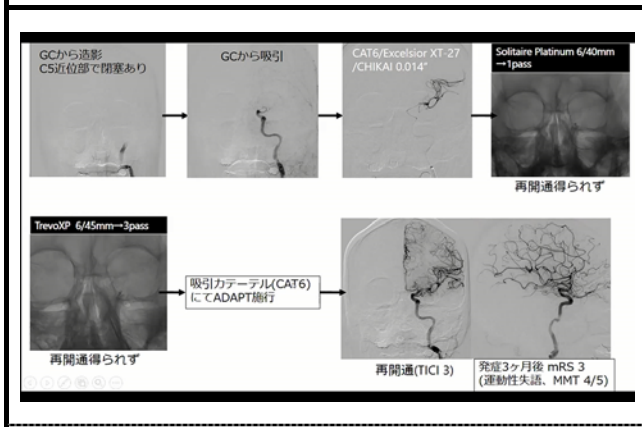
<p>【イベント名】 第1回 血栓回収テレカンファレンス</p>	<p>【概要】 脳梗塞は一刻を争う疾患であり、少しでも早く再開通療法を施行することが重要である。本カンファレンスには施設規模・体制の異なる5病院が参加し、脳梗塞におけるtime metrics（ワークフロー）について実際の症例を提示して検討を行った。治療までの時間短縮について活発な討論が行われ、明日からの臨床に直ちに役立つような有意義なカンファレンスとなった。</p>
<p>【期日】 2020.09.28</p>	
<p>【会場】 九州大学病院（日本）、鹿児島大学（日本）、鹿児島県立大島病院（日本）、国立循環器病研究センター（日本）、庄正会 蜂須賀病院（日本）</p>	



庄正会 蜂須賀病院の様子。
撮影場所：九州大学病院



モニタに映し出される接続施設。
撮影場所：九州大学病院



提示されたスライド。
撮影場所：九州大学病院

コメディカルや他科医師の教育など

- ✓ 第一発見者の3/4は看護師
→わかりやすい基準と連絡先を各病棟に掲示
- ✓ 各科との情報共有・勉強会
→頻度の多い循環器系、救命救急センターなどへの勉強会
- ✓ 治療医師の増員・成績担保
→Combined techniqueを用いた血栓回収 定期ハンズオンで手技を統一

提示されたスライド。
撮影場所：九州大学病院



鹿児島県立大島病院の様子。
撮影場所：九州大学病院



鹿児島大学の様子。
撮影場所：九州大学病院